



岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

令和元年 8 月 5 日
岡 山 大 学

中四国最大規模の新生工学部誕生へ 令和 3 年 4 月開設に向けて構想中

AI（人工知能）や IoT（モノのインターネット）などのデジタル技術の革新により社会のあり方が大きく変わろうとしている現代において、Society5.0 の実現と、新たな産業を支える技術基盤の創出、および SDGs（国連の持続可能な開発目標）の達成のため、工学系教育改革は喫緊の課題となっています。

この情勢を受け岡山大学では、幅広い視野をもち、社会課題を発見・解決できる創造的な工学系人材の育成を目指し、工学部と環境理工学部を再編して、新たな工学部を設置する構想を固め、細部の検討に入りました。令和 3 年 4 月の開設を予定しています。

「Society5.0 for SDGs の実践的教育」を特色としながら、数理データサイエンスのプロフェッショナル育成や、これまで本学になかった建築系の教育プログラムなどを盛り込んだ、入学定員 610 名の中四国地方最大規模の工学系学部となる予定です。両学部の特長を生かし、情報系や数理系など工学系諸分野の連携を図ることで、科学技術とイノベーションを担う人材を育成し、SDGs への更なる貢献を目指します。

<発表内容>

Society5.0 とは、「サイバー空間（仮想空間と）フィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」という概念であり、「超スマート社会」「創造社会」などとも呼ばれます。現在、急速に AI や IoT、ブロックチェーンといった革新的なデジタル技術が進展し、社会のあり方が大きく変わろうとしています。Society5.0 時代には、多様なニーズや課題を読み取りそれを解決するシナリオを設計する想像力や、デジタル技術やデータを活用する創造力が必要となります。平成 30 年 11 月の中央教育審議会答申でも、国立大学の役割として「Society5.0 の実現に向けた人材養成など計画的な人材養成の役割」などが求められるとされているほか、社会課題の解決や自然との共生を目指す Society5.0 は、国連が採択した「誰一人取り残さない」を理念とする SDGs の達成にも貢献します。

現在、本学の工学系学士教育は、昭和 35 年 4 月に設置した工学部（現在 4 学科 10 コース）と、平成 6 年 10 月に国立大学で初めて「環境」を教育研究の柱とする学部として創設された環境理工学部（現在 4 学科）の 2 学部で実施しています。しかし Society5.0 の達成に必要な、幅広い視野を持った創造的な人材の育成に向けては、数理系、情報系、通信系、電気系といった工学系諸分野の連携が求められ、2 学部に分かれた現在の体制では限界があります。また、「科学技術イノベーション総合戦略 2015」で策定された「Society5.0 実現のための 11 システム」を俯瞰すると、現在の工学部および環境理工学部の両学部の研究領域を統合することで、Society5.0 実現に必要な基盤分野と



PRESS RELEASE

11 システムのほとんどをカバーすることになります。

このような情勢を受け本学では、幅広い視野をもち、社会課題を発見・解決できる創造的な工学系人材の育成を目指し、工学部と環境理工学部を統合再編して、新たな工学部（名称は「工学部」（予定））を設置する構想を固めました。令和3年4月の開設を目指しています。新たな工学部は、Society5.0の実現を通してSDGsへ貢献する「Society5.0 for SDGs」の実践的教育を特色とし、既存の2学部の特長を生かして新たな教育課程を構築します。具体的な内容は検討中ですが、ビッグデータを高いレベルで扱える数理データサイエンスのプロフェッショナルを育成するコースや、これまで本学になかった建築士育成の教育プログラムなどを設け、入学定員610名という中四国地方最大規模の工学系学部となる予定です。詳細については、時期をみて改めて発表いたします。

本学は、Society5.0の実現およびその後の科学技術の発展とイノベーションを担う創造的な人材の育成を通し、今後ますますSDGsの達成に貢献していきます。

<お問い合わせ先>

岡山大学総務・企画部広報課

（電話番号）086-251-7013

（FAX番号）086-251-7294

（メール）www-adm@adm.okayama-u.ac.jp



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を支援しています。